

研修プログラム概要

研修期間	2	年間
研修病院（代表病院）	JCHO東京新宿メディカルセンター	
研修協力病院（パートナー病院）	JCHO船橋中央病院	
研修協力薬局（パートナー薬局）	日本調剤江東薬局・日本調剤慶応堂薬局	

区分	研修項目 【ガイドライン推奨期間】	研修期間	研修時期	研修施設	研修のポイント・特色
必修	(1) 調剤業務 【3ヶ月程度】	4ヶ月	1年目(4-9月) 2年目(随時)	JCHO東京新宿メディカルセンター	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な調剤・鑑査、疑義照会手技の確立、製剤、注射薬調剤 散剤・水剤・軟膏の混合調製手技の習得
必修	(2) 医薬品の供給と管理 【2週間以上】	2ヶ月	1年目(6-9月) 2年目(随時)	JCHO東京新宿メディカルセンター	<ul style="list-style-type: none"> 麻薬、向精神薬、毒薬等の管理実務 医薬品の入出庫管理、発注業務
必修	(3) 医薬品情報管理(DI) 【2週間～1ヶ月】	1ヶ月	1年目(6-9月) 2年目(5月)	JCHO東京新宿メディカルセンター	<ul style="list-style-type: none"> DI室専従研修、質疑応答の実践 新薬採用審査における評価資料の作成
必修	(4) 病棟業務 (薬剤管理指導) 【6ヶ月程度】	18ヶ月	1年目(10-3月) 2年目(通年)	JCHO東京新宿メディカルセンター	<ul style="list-style-type: none"> 内科系・外科系をローテーション(1年目:2ヶ月毎、2年目:3ヶ月毎) 担当患者を持ちカンファレンスへ参加 症例報告(10症例)の作成(日本病院薬剤師会プレアボイド報告へ入力)
必修	(5) 在宅訪問 【1ヶ月程度】	1ヶ月	2年目(随時)	日本調剤江東薬局・日本調剤慶応堂薬局	<ul style="list-style-type: none"> 連携する「日本調剤江東薬局・日本調剤慶応堂薬局」にて実習(数日間) 居宅療養管理指導への同行、多職種連携の実践 訪問看護(JCHO東京新宿メディカルセンター)への同伴
必修	(6) 医療安全 【全期間】	全期間	通年	JCHO東京新宿メディカルセンター	<ul style="list-style-type: none"> インシデントレポート分析、KYT(危険予知訓練) リスクマネジメント部会への参加
必修	(7) 感染制御 【全期間】	全期間	通年	JCHO東京新宿メディカルセンター	<ul style="list-style-type: none"> IGTラウンド同行、抗菌薬使用届出の確認、ASTカンファレンス参加 標準予防策(手指衛生等)の実践
必修	(8) 地域連携 【全期間】	全期間	通年	JCHO東京新宿メディカルセンター	<ul style="list-style-type: none"> トレーニングレポート運用、退院時サマリー作成 地域連携会議への参加
必修	(9) 無菌調製 【2週間】	1ヶ月程度	1年目(6-9月)	JCHO東京新宿メディカルセンター	<ul style="list-style-type: none"> 高カロリー輸液、抗がん剤の無菌調製手技 閉鎖式接続器具(CSTD)の適正使用指導
必修	(10) がん化学療法 【1ヶ月】	半年	2年目(4-9月)	JCHO東京新宿メディカルセンター	<ul style="list-style-type: none"> レジメンチェック、支持療法の提案 外来化学療法室での薬剤師外来(面談)の実践
選択	(11) TDM	随時	1年目、2年目	JCHO東京新宿メディカルセンター	<ul style="list-style-type: none"> 抗菌薬・免疫抑制剤等の解析・投与設計レポート作成 解析ソフトの運用管理
選択	(12) 専門領域 (ICU・小児・産婦人科 ・精神科の薬物治療等)	1年	2年目	JCHO東京新宿メディカルセンター JCHO船橋中央病院病院病院	<ul style="list-style-type: none"> ICU、がん、感染、精神、緩和など特定領域 専門薬剤師資格取得要件となる症例の集積 JCHO船橋中央病院病院での周産期研修(産科、新生児科)を3週間(2年目2月～3月)
選択	(13) その他	(任意)			

補足事項

- ・1年目は毎月各領域ごとの薬剤についての基礎知識を確認するテストを実施。2年目は口頭試問にてより臨床的な症例について知識を問う。
- ・年間で報告した症例をもとに症例発表会を実施。オンラインで開催し、JCHOグループ内の各病院が参加する。